

お客さま各位

2024年5月10日

株式会社りそな銀行

株式会社埼玉りそな銀行

AnserDATAPORT®を利用した「りそなパソコンサービス」外為 EB 機能の 海外送金サービスの ISO20022 対応について

平素より、りそなグループをご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、AnserDATAPORT 接続にて海外送金サービスをご利用のお客さまに対して、ISO20022 対応版の

AnserDATAPORT®を利用することで、2025年7月(弊社のISO20022移行予定)以降も海外送金サービスの依頼受付を可能とする予定であることをお知らせいたします。

1. 背景

外国送金にかかる代表的な決済ネットワークで、銀行間の国際金融取引を仲介する SWIFT(国際銀行間通信協会)は、外国送金に用いるデータフォーマットについて、新規格(ISO20022 という金融サービスに関連するデータフォーマットを規定した国際標準規格)を採択し、2025年11月までに現規格からの移行を完了させる旨を発表しております。

これに伴い、世界各国の金融機関および金融機関に対して外国送金を依頼されるお客さまは、新規格を用いた外国送金を可能とするため、2025年11月までに、データフォーマットや伝送手順の変更等(以降、ISO対応という)を実施する必要があります。その一環として、各金融機関では、インターネットバンキング・ファームバンキングサービスの改定を進めております。

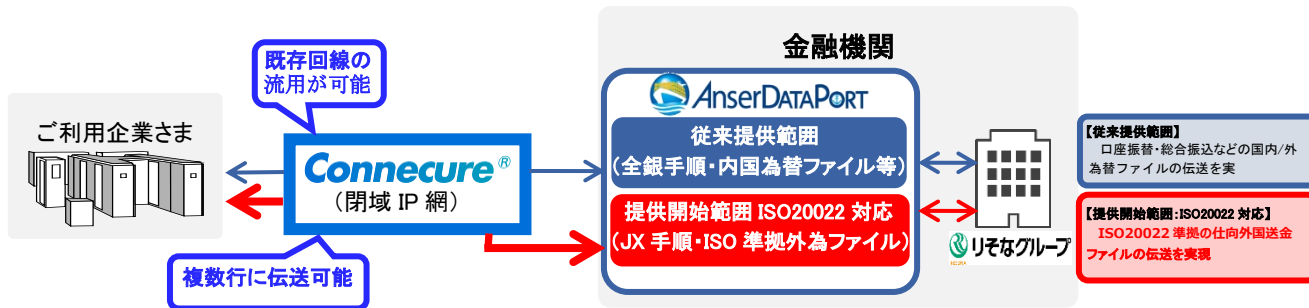
2. 対応概要

日本からの外国送金指示を行うことが可能な弊社のりそなパソコンサービス「AnserDATAPORT 接続」では、お客さまの会計・財務システムと銀行システム間のデータ伝送について、(株)NTT データが提供する AnserDATAPORT®を利用しております。

この度、(株)NTT データが、2024年度下期に ISO 対応版の AnserDATAPORT®を提供すると発表したことを受け、

弊社では、AnserDATAPORT®を接続方式として海外送金サービスをご利用のお客さまについて、

2025年7月(弊社のISO20022移行予定)以降も海外送金サービスの依頼受付を可能とする予定です。



3. 今後の予定

AnserDATAPORT®の ISO 対応を受けた「AnserDATAPORT 接続」の利用方法の変更点については、別途ご案内いたします。

以上